

2022(令和4)年度 北海道園芸研究談話会 研究発表会プログラム

12月4日(日) 於 Web開催(北海道大学 農学部校舎)

開始時間	午前の部	
9:15	接続開始	
	Session 1	座長 菅原章人(道総研花野菜技セ)
9:30	1.農福連携に適した若莢用インゲンマメにおける品種選定と栽培方法の考案—つる性品種における播種期が若莢収量に及ぼす影響とその年次間差異— ○山本琴水・義平大樹(酪農大)	
9:45	2.農福連携に適した若莢用インゲンマメにおける品種選定と栽培方法の考案—若莢子実兼用品種における若莢収穫終了時期がその後の子実収量に及ぼす影響— ○義平大樹・山本琴水・杉谷翔(酪農大)	
10:00	3.<溶性ホウ素肥料の施用がスイートコーン品種'味来早生130'の生育および収量に及ぼす影響 —土壌中の微量元素含量の違いが施用効果に及ぼす影響— ○澤田壮太1・松井俊樹1・北畠拓也2・義平大樹1(1. 酪農大、2. TOMATEC(株))	
10:15	4.カボチャ品種'おいとけ栗たん'の直播による早期栽培が生育と収量・品質に及ぼす影響 ○牛木 純・杉山慶太(農研機構北農研)	
10:30	5.干ばつ条件下でのマルチ色の違いがニンニクの生育に及ぼす影響 ○阿部純也・柳田大介・佐々木純・田縁勝洋(道総研花野菜技セ)	
5分換気	Session 2	座長 星野洋一郎(北大北方生物園セ)
10:50	6.リンゴのみつ症果発生におよぼすマルチおよび針金リング処理の効果 ○山下瑠花1・藤木卓巳1・遠藤綾乃2・夏堀優2・春日 純3・上野敬司4・実山 豊1・鈴木 卓1(1. 北大院農、2. 北大農、3. 帯畜大、4. 酪農大)	
11:05	7.北海道で栽培される醸造用ブドウの冬芽の凍結環境下における脱水特性 ○坂原 詩織1・Amaya Atucha2・春日 純1(1. 帯畜大、2. ウィスコンシン大)	
11:20	8.摘葉処理がブドウ品種'山幸'の果汁品質に与える影響 ○久保田 浩実1・東 徳2・耕智 貴之1・春日 純1(1. 帯畜大、2. 十勝ワイン)	
11:35	9.十勝の同一傾斜地圃場内の3地点における土壌特性とブドウの養分状態との関係 ○廻淵 凌匠1・木下 林太郎1・谷 昌幸1・東 徳2・岸本 明莉1・Elton Amadeus Francisco1・春日 純1(1. 帯畜大、2. 十勝ワイン)	

11:50~13:00 昼休み(70分)

午後の部		
	Session 3	座長 大久保進一(道総研花野菜技セ)
13:00	10.秋季のパイプハウスにおけるトマト模擬果実を用いた結露強度の推定 ○古山真一1・高濱雅幹1・立松宏一2(1. 道総研上川農試、2. 道総研北総研)	
13:15	11.トマトの摘房処理が収量・収穫時期等に及ぼす影響 ○松山翔海、大塚皓介、石田康幸(岩見沢農業高)	
13:30	12.イチゴ果実に含まれる成分のMALDI-TOF MS imagingによる可視化 ○藤木卓巳・実山豊・鈴木卓(北大院農)	
13:45	13.UV-B照射を活用したイチゴ病害虫防除の実証 第2報 ○野津あゆみ1・斯波 肇2・谷村佳奈美3・園原 輝3(1. 道総研農研本部、2. 農研本部技術普及室、3. 苫東ファーム(株))	

5分換気	Session 4	座長 嘉見大助(農研機構北農研)
14:05	14.小型パプリカにおける省力的栽培方法の検討 ○三上翔平・堀江幸生・中村慎一(ホクレン農総研)	
14:20	15.収穫後貯蔵方法の違いがポーレコールの品質に及ぼす影響 ○高濱雅幹1・下 鈴果2・古山真一1・加藤 淳2(1. 道総研上川農試、2. 名寄市立大)	
14:35	16.ハクサイにおけるマキバカスミカメの被害実態解明と防除対策の検討 ○石山志穂1・木村繁久1・高木修一1・丸山麻理弥2・高田和明3(1. 十勝農改十勝西部、2. 道総研十勝農試、3. 十勝農試技術普及室)	
14:50	17.ジベレリンおよびジベレリン合成阻害剤がナガイモの不萌芽に及ぼす影響 ○八木亮治1・坂口雅己2(1. 道総研花野菜技セ、2. 道総研十勝農試)	
5分換気	Session 5	座長 高田和明(十勝農試技術普及室)
15:10	18.温湯および乾熱滅菌による種子消毒がアスパラガスの発芽および病原菌の発生に及ぼす影響 ○坂口龍之介、佐藤優平、園田高広(酪農大)	
15:25	19.袋栽培における培地組成がホワイトアスパラガスの収量に及ぼす影響 ○中村陸人・坂口龍之介・北本美穂・園田高広(酪農大)	
15:40	20.NFT水耕西洋ワサビの生育およびシニグリン含量に及ぼす培地に添加した数種含硫化合物の効果 ○今井佐耶花・川辺晃太郎・北岡 哲・実山 豊・鈴木 卓(北大院農)	
15:55	21.テーブルビートに発生した黒色腐敗症の品種間差異 岩間成美1・佐藤優平1・野津あゆみ2・薦田優香1・児玉不二雄3・○園田高広1(1. 酪農大、2. 道総研農研本部、3. (一社)北海道植防)	

終了16:10

注) ○印は発表者を示します。発表時間は1課題当たり15分(発表12分、質疑3分)です。

発表データの録画・ダウンロードは禁止します